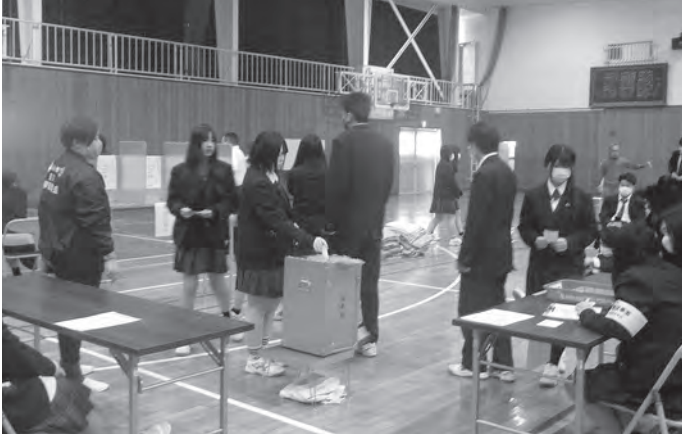


問 「こども・わかもの」のまちづくりは

答 推進の基盤づくりへ着手する



若者の選挙啓発のための主権者教育の様子（東海高校）



公明党 議員
うえき 植木 しょうすけ 議員

問 若者の主体的参画は地域の未来に不可欠である。「こども・わかもの」のまちづくりをどう推進するか。

答 令和5年度から取り組みを推進し施策を積み上げ土台を整えた。令和8年度は、拠点・居場所の方針をまとめ、

コーディネーターの配置や学生ユーザーに養育にプラスするプロジェクトを地域との接点づくりとして展開する考えである。

問 子どもの主権者教育にどう取り組むのか

答 社会・政治に関わる姿勢を育む

問 主権者教育をどう推進するか伺う。

答 マスメディアやSNS等の情報を正しく扱うため、情報リテラシーを育成している。

問 若者と政治の間には距離があるとの指摘がある。自分の行動で社会は変わる。主権者教育の推進の考えは。

答 若い世代の政治参加と、若者の主体的参画が地域の未来を創るまちづくりの足掛かりとなるよう、主権者教育に取り組む。

問 障がい者の就労支援に向けた考えは

答 働く意欲のある方の雇用促進に努める

問 就労継続支援B型利用者が増えている。取り組みを伺う。

答 雇用促進に向けて、公共施設で就労継続支援事業所の物品販売や、優先的な物品購入と業務委託に取り組んでいる。また、障がい者総合支援協議会での協議を踏まえ、障害福祉サービス事業所と企業の連携を促進したい。

会の確保にとどまらず、経済的自立の支援、社会参加の拡大、自己実現の機会の確保などの面から重要な課題と考える。近年は、就労による地域経済の担い手確保としての側面もある。今後、福祉、教育、保健との連携体制を強化し、働く意欲のある方が働き続けられる社会の構築に努める。

問 障がいがあっても、意欲のある方が前向きに働けるよう環境整備に努めることが重要。見解を伺う。

答 障がいのある方の就労は、単なる就労機



役場庁舎1階で行われる障がい福祉事業所による物品販売